Do you

ド　ー　ユ　ウ

東毛経済同友会 第50期　会報誌

50年の軌跡、未来への想い

～いつでも前向きに行こう！～

豊かさを求めて

発行責任者　東毛経済同友会 会長
発　　行　広報委員会
発 行 日　２０２３年７月吉日

頑張りました。未来へつなぐ50期！

第50期会長　大谷 幸徳

48期３月総会で50期会長としてご承認頂き２年間のマラソンがスタートしました。三役と実行委員長と共に50期の準備に費やした時間は50周年に立ち向かう覚悟を決める大切な時間でした。

そして50期、すべての例会・事業を50周年記念とし、各委員会の皆様には素晴らしい例会・事業を企画して頂きありがとうございました。

50周年実行委員会の各部会では､同友会だからこそ出来る｢未来へ残る｣｢心に残る｣記念式典・記念事業・記念懇親会を企画して頂きありがとうございました。また、記念誌では50年の軌跡をまとめ未来へつなぐ素晴らしい記念誌を制作して頂きありがとうございました。

最後に、理事会メンバーと50周年実行委員会の皆様を始めとする会員各位に心より感謝を申し上げると共に、貴重な経験をさせて頂いた同友会に恩返しの気持ちを忘れず51期に襷を繋げます。２年間ありがとうございました。

実行委員長を終えて

50周年実行委員長　岡田 秀一

２年に渡り､実行委員会を始め､会員皆様方に於かれましては50周年事業に御支援、御協力を頂き誠にありがとうございました。

実行委員会スタート時、周年事業が出来るかどうか本当に心配でした。会の運営どころか、自企業の存続をも脅かす状況であった事は間違いありません。このような中、通常の会の活動以外に50周年という一大イベントを企画していく事は会員メンバー（特に役職者）の負担になるのではと、私自身考え悩みました。実施するからには当然中途半端な事は出来ません。東毛経済同友会の50年の歩みは偉大で、時代の変化の中数々の難関を乗り越えてきました。だからこそ、ここで負ける訳にはいきません。41期スローガン「参加する事に楽しみを感じる会」、46期スローガン「笑顔が絶えない楽しい会」、会員皆様に協力して頂く為には、まさしくこの精神で乗り越えるしか道はありませんでした。プレッシャーの中、一番大変な時にでも大谷会長は、いつも前向きで元気でした。各部会も本当に頑張って頂きました。私を本当に助けて頂きました。今、感謝の気持ちしかありません。

50期の大谷会長、50周年実行委員会の岡田委員長
本当にお疲れ様でした

50周年記念事業を終えて

式典部会長　　石井 洋平

50 期、総務委員会、環境保全委員会の皆様、大変お世話になりました。式典当日の準備にて皆様の力強さ、同友会の結束力を力強く感じました。反省点はいろいろとありますが、会員皆様の心に残る式典になっていれば幸いです

皆様、ご協力ありがとうございました。

記念事業部会長　　櫻井 春男

50 周年記念事業は、オープンハウスアリーナ太田の前に、記念植樹としてモミジを植え、また 50 周年を記念して 50 型のベンチを設置いたしました。そして「Do you 50 forest」というエリアのネーミングも決まりました。完成までには、事業の内容・設置場所・施工と、色々な難問が有りました。実行委員会・部会・会員の皆様のご協力を頂き完成する事が出来ました。携わって頂いた全ての皆様に感謝申し上げます。

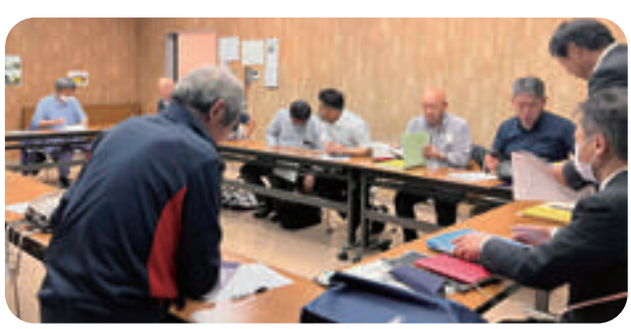
～ 思い出を未来に繋げる同友会 ～

懇親会部会長　　板橋　聖

50 周年記念懇親会にご参加頂きまして誠にありがとうございました。
開催当日は、おもしろオープニング映像に始まり、大谷会長＆岡田実行委員長によるケーキ入刀、桔梗ブラザーズによるイルミネーションジャグリング、抽選会にお土産。内容盛り沢山でおもてなしさせて頂きました。記憶に残る周年の懇親会になっていれば大変嬉しく思います。
最後に、企画、設営、運営にご協力頂いた懇親会部会の皆様、ありがとうございました。

広報記念誌部会長　　清水 利彦

記念誌発行にあたり、多くの皆様に寄稿をいただき写真も提供いただきました事に大変感謝申し上げます。50 年の歴史を一冊にまとめる事と、現会員一人一人を掲載いたしました。
この記念誌を手に取っていただき、過去を紐解き新たな一歩を踏み出したていただければと思います。そして又、100 年先でも見ていただきたいと思います。



皆様のご協力のおかげで、まとめることができました 50 周年記念誌「紡ぐ」。
是非、楽しみながらご覧ください。

（写真はイメージです）

例会報告（2022.12～2023.6）＆各委員長から会員へ

12月7日（水）
イルミネーション点灯

社会福祉委員会

2月7日（火）
新入会員オリエンテーション

企画委員会

12月8日（木）
会長企画忘年会

三役・会員委員会

1月27日（金）
知っておきたい
ホントの社会福祉支援・知ったからにはやっておきたい
継続支援

社会福祉委員会

3月2日（木）
定時総会
50周年記念講演会

総務委員会

総務委員会メンバーへ……委員長　高櫻 紀一

メンバーには「感謝しかありません」。大先輩～個性的なメンバーが揃って居て、みんながみんな出来の悪い私を下支えしてくれた。御蔭で1年間、委員長職を全う出来ました。本当にメンバーのみなさん！ありがとうございました。

環境保全委員会メンバーへ……委員長　津久井 智一

環境保全の皆様へ、金山清掃から始まり、記念式典や例会で絆を深めました。先輩方の支えとメンバーの努力に感謝します。これからも協力し合い、温かい未来を築くための活動を一緒に楽しんでいきたいと思います。皆様のご健康を願います。

会員委員会メンバーへ……委員長　橋本 守

会員委員会メンバーの皆様1年間お疲れ様でした。ありがとうございました。会長企画忘年会では担当副会長を始め理事の方にアドバイスを頂き、委員の皆様のご協力で忘年会を盛り上げる事が出来ました。

50周年懇親会では、委員一人一人が担当を責任持って協力頂き、50周年事業にふさわしい懇親会が出来ました。来期には個々の委員会に分かれてしまいますが、今後も同友会を盛り上げていきましょう。

国際委員会メンバーへ……委員長　鈴木 泰伸

今期の前半はコロナもまだ心配でしたが、担当として11月にはスバル講師例会、5月には50周年記念懇親会と、委員会関係者、メンバーの皆様には多大なご協力を頂いて心より御礼申し上げます。委員長として行き届かない点多々あった事はお詫びを申し上げます。

広報委員会メンバーへ……委員長　小林 由夏

入会2年目の委員長で頼りなかったことでしょう。皆さんのお陰でなんとか乗り越えられました。パワポの使い方から始まり、手取り足取りで勉強になりました。一期一会に感謝します。

経済文化委員会メンバーへ……委員長　楠 輝久栄

経済文化委員会の例会は10月開催のみでしたが、新アリーナ「OPEN HOUSE ARENA OTA」完成に向けて、とても価値のある例会ができたと感じております。無事に例会を開催できたのも委員会の皆様のご協力のお陰です。初めての委員長で至らない点も多々あったかと思いますが、1年間ありがとうございました。

企画委員会メンバー……委員長　山下 明治

今年度の企画委員会は、メンバーや理事をはじめ、ベテランの方々が多く在籍していただいたおかげで、良きアドバイスをたくさん頂き非常に楽しい委員会活動が出来たことに感謝しかありません、あっという間の一年間でした。100文字ではとても足りませんが、本当にありがとうございました。

社会福祉委員会メンバーへ……委員長　下山 真之

50期社福は「委員会メンバー全員の楽しい」だけ目指しました。どうでしたか？事業がうまくいったなら皆さんのおかげです。絆が深まったのも皆さんのおかげです。皆さんとの1年は私の人生の宝です。ありがとう。

6月4日（日）
50 期慰労会
企画委員会

50 期を共に歩んだ仲間に感謝

大谷幸徳

慰労会ゴルフコンペ
（伊香保国際カントリークラブにて）

皆さん本当にお疲れ様でした
（伊香保温泉如心の里　ひびき野にて）

3月5日（日）鳳凰ゴルフ倶楽部 50 周年記念ゴルフコンペ開催報告

ゴルフ部会長　成塚 登夫

新緑が眩しい好天の中 54 名という大勢のご参加を頂き、50 周年記念ゴルフコンペが鳳凰ゴルフ倶楽部で開催されました。大谷会長も絶好調の中、記念に残る大会が行えたと思います。優勝の八里隆司さん、おめでとうございました。

ハイキング部会事業報告

ハイキング部会長　金井　勇

6 月 11 日（日）に予定していました碓氷峠へのハイキングは、雨のため中止となりました。とても残念です。

50 期の皆様お疲れ様でした。共に過ごした仲間から労いの言葉

杉山専務理事から大谷会長へ

この原稿依頼を頂いたのは、ちょうど 51 期第 2 回運営委員会の日でした。第 1 回に続き今回も 50 期大谷会長が、“ 直前会長 ” として私の対面の席に座っておられます。私はいつも大谷会長の隣に居ましたので違和感で一杯です。

会長在任中は「全ての出来事を楽しもう!!」と言いながら、笑顔で副会長の方々や私を盛り上げて下さいました。大変だった時期もあったそうですが、そんな大谷会長を助けたいと思い 1 年間やって参りましたが、私の力不足でご迷惑をお掛けしたと思います。

50 期・50 周年と節目の年に、大谷会長と共に良い経験をさせて頂きました。いつも大谷会長の笑顔が素敵だと思っておりました。本当にありがとうございました。

大谷会長から杉山専務理事へ　「頼りになるぜ、杉山専務！」

素晴らしい人柄の杉山乃祐氏に、太田市内のとあるお店でお酒の力を借りて専務理事就任を打診したところ気持ち良く引き受けて頂きました。さすが元高校球児！男気あるね！

あれから 2 年間、私と同友会活動を支えて頂きありがとうございました。杉山専務が居なかったら 50 期の私はどうなってしまったのか？改めて考えると怖くなります。

最後に「ニシキゴイ・長谷川雅紀」忘れません。本物でした。

中村副会長から飯田副会長へ

飯田副会長の経験豊富なアドバイス、優れたリーダーシップを経済同友会での活動を通じて、体験をさせていただきました。

また、講師例会では㈱ SUBARU 群馬製作所の取り組みについても学ぶことができ、50 周年記念懇親会に於いても周年実行委員会との協力の下、大変すばらしい懇親会を開催することができました。

飯田副会長から小暮副会長へ

小暮副会長、1 年間お世話になりました。東毛経済同友会 50 周年を迎え、色々な事を経験した 1 年間でしたね。42 期に同期として入会してから、何時も助けてくれてありがとうございます。

今後共よろしくお願いいたします。

小暮副会長から服部副会長へ

服部副会長の理事会議長としてのスムーズな理事会進行における巧みさは安定感抜群だと感じました。それを手本にと私も臨みましたが、そうは問屋が卸しませんでした。兄貴分的で人情味のある服部副会長は頼りがいがあったのでしょう、企画委員会・社会福祉委員会それぞれがまとまり皆で各事業・例会を成功に導かれたと思います。来期も一段とご活躍されることと思います。

服部副会長から中村副会長へ

大谷会長のもと 50 期という記念すべき年に副会長を仰せつかり、三役一丸となって努めてきました。メンバーの皆様と共に 50 周年を楽しむ事ができ、とても感謝しています。中でも中村副会長はとても誠実で何事にも一生懸命に取り組んでいました。理事会での議長の時や例会での謝辞担当の時は前もって準備をし、自分にアドバイスを求めたり、見えない所で努力をしていました。記念式典での裏方の頑張りも目を見張るものがありました。

仕事に趣味に忙しい中本当にお疲れ様でした。

新たな気持ちで

第51期会長　石井 洋平

いよいよ第51期がスタートします。周年事業が終わって、皆さんが少し休憩したいと思う時期ではございますが、50期の熱い思いをそのまま、どうか51期に継続して頂きたいと存じます。

コロナ禍で3年近く自粛してきました。今期は熟年層から若年層の方々が楽しく肩を並べて、お酒を酌み交わせる51期にしていきたいです。

会員の皆様宜しくお願い致します。

滝澤 将司専務理事

コロナ禍入会にて今期で5年目。活動が制限される中、やっと出口が見えようとしている51期で、専務理事を仰せつかりました。経験値が少ない私ですが、できる限り会長をサポートしつつ、同友会の【新たな旅立ち】に向けて皆様と一緒に頑張りたいと思います。

黒田 雄幸副会長

新型コロナウィルス感染症も第5類に移行し、第51期は以前のような活動、さらにパワーアップした活動ができることを期待しております。私個人としては、先ずは担当委員会での副会長としての職務をしっかりと務め、微力ながら会の運営のお役に立てれば幸いです。そして第51期の活動が同友会の輝かしい過去と未来を繋ぐ1歩（1年）となるよう最善を尽くしてまいります。

51期を支えてくれます。左より黒田副会長、滝澤専務理事、櫻井副会長、樋口副会長、清水副会長

櫻井 春男副会長

経済文化委員会、社会福祉委員会の担当副会長を務めます。節目の50期も終わり、石井会長が掲げた【新たな旅立ち51期から50年先の未来へ】の想いを胸に、担当委員会の皆様と楽しく、未来へ繋がる51期にしたいと思います。

清水 利彦副会長

今年度、広報委員会及び環境保全委員会の担当を務めさせていただきます副会長の清水利彦です。石井会長の活発的行動「ボトムアップ」を優先に委員会の活動や運営各事業に反映させてまいります。一年間よろしくお願いいたします。

樋口 智也副会長

第51期で総務委員会及び企画委員会の担当副会長を仰せつかりました。コロナ禍で学んだ事も活かしつつ新たな時代への第一歩の年に出来ればと思っております。経験不足な私では御座いますが精一杯務めて参りますので、会員皆様のご理解ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

ようこそ東毛経済同友会へ　新入会員のご紹介（敬称略）

宇津木 裕子

合同会社わっしょい
女将

小池 洋一

株式会社 上毛新聞社
東毛総局
東毛総局長兼営業部長

齊藤 弘典

有限会社 齊和工務店
代表取締役

茂木 和幸

笹川博義事務所
所長

薬丸　潔

薬丸法律事務所
代表弁護士

編　集　後　記

皆さまのご協力のお陰で「Doyou」を無事に発行できました。12月号では訳も分からず東京広告さんへ丸投げ。6月号では「こんな風にしたい」という思いが芽生えました。一人では非力でも、皆さんの力を借りて形にできる素晴らしさを知りました。それは、広報だけでなく他の委員会の方を見ていても思います。初めて入会した団体が同友会で良かったと改めて思います。

広報委員長　小林 由夏

THIS IS OUR SPIRITS

東毛地区の真のリーダーとなるべく全会員で叡知を結集していく。
東毛地区の政治経済・文化を通じ、地域社会に貢献していく。
自己の向上を目指し、会員相互親睦と研鑽を積み重ねる。